

●●● 「TRY1」3事業分野の取り組み



GLOBAL 2020 2011年に「GLOBAL 2020 VISION」で掲げた
VISION 「TRY1」3事業分野の最近の取り組みをご紹介します

モビリティ

～海外での自動車用アフター部品事業に本格参入～

当分野では、ハイブリッド車や電気自動車などの次世代自動車へのシフトが進む中、レアアースやレアメタルなどの安定供給のための投資や水素補給サービスステーションの試験導入など、対応を強化しています。

当社は、海外での自動車用アフター部品事業に本格的に取り組むべく、マレーシアとタイにおける自動車用アフター部品および産業資材の大手卸売会社であるボルネオ社の発行済み株式の100%を取得しました。

両国はアセアン地域において、有数の自動車保有台数を誇り、自動車用アフター部品市場も、年率5%程度の成長を続けております。

ボルネオ社は、都市部だけでなく、地方部も含めた広範な販売拠点網を有しており（マレーシア：

販売拠点19と販売先15,000店、タイ：販売拠点11と販売先13,000店）、部品商や修理店・小売店および工場への直接的な販売力を強めています。

このたび当社は、両国における市販ネットワークを獲得することにより、自動車用アフター部品および産業資材の拡販に加え、これまで生産分野の自動車部品事業で培ってきた既存の調達基盤を活用した商材調達や、プライベートブランド開発を含む商品ラインアップも同時に強化し、自動車用アフター部品市場におけるバリューチェーンの構築を目指します。

今後も当社は、アジア地域を中心に自動車用アフター部品の調達・販売ネットワークの拡充を図ってまいります。



当社関係会社TTMSB 北川社長(左)
ボルネオ社 呉会長(右)

～海外に進出する日系企業を居住面でサポート～

当分野では、人々の生活に密接に関連した商品・サービスを幅広く取り扱っています。

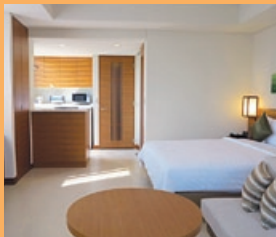
平成26年9月、日系企業の長期滞在者や出張者向けに宿泊・居住施設とサービスの提供を目的とした、ホテルレジデンス「AXIA SOUTH CIKARANG（以下、アクシア・サウスチカラン）」が、インドネシアにオープンいたしました。

昨今、インドネシアでは日系企業の進出急増により宿泊・居住施設が不足しており、とりわけ首都ジャカルタ東部のリッポーチカラン地区などは、周辺の工業団地開発に伴い、長期滞在者や出張者向けの宿泊・居住施設が不足しています。また、慢

性的な交通渋滞により、ジャカルタからの通勤は



ホテルレジデンス 外観



部屋一例

長時間を費やさなければならぬ状況となっています。

「アクシア・サウスチカラン」はこうした問題を解決しつつ、24時間日本語対応のコンシェルジュや空港・職場などへの送迎をはじめとする各種サービスを取り揃え、『インドネシアの寛ぎと日本品質のおもてなし』をモットーに、長期滞在者や出張者に、清潔感あふれる環境と充実のサービスで快適で安心な暮らしをサポートしています。

本ホテルレジデンス事業は、当社、インドネシア大手企業集団のリッポー・グループ、トヨタホーム株式会社、東急不動産グループのPT.Tokyu Land Indonesiaの4社が共同出資し、設立したPT.TTL Residencesを運営母体としております。

当社はインドネシアにおける本事業の取り組みを通じて、同国経済の更なる発展に貢献してまいります。

●●● 「TRY1」3事業分野の取り組み



アース& リソース

～リサイクル事業の世界展開に向けて～

当分野では、食料・資源・自然環境などにかかわる「地球課題」と向き合い、当社グループならではの取り組み方で新たな価値を創造し、事業の更なる成長・拡大を目指しています。

当社は、金属スクラップの取扱量で世界第2位のドイツのスクラップ事業会社である、ショルツ社の発行済み株式の39.9%を取得し、資本参加いたしました。

ショルツ社は、使用済み自動車を含むリサイクル対象物からの資源回収ネットワークを欧州を中心に世界26か国に展開しています。近年では、破砕機から排出される残渣からの高度選別に力を入れており、資源リサイクル分野における先駆的ポジションにあります。

当社は、長期経営計画において「リサイクル



高度選別技術
(ポストシュレッダーテクノロジー)



スクラップ集積所での作業風景

事業の世界展開」を掲げております。ショルツ社への資本参加により、従来リーディングカンパニーとして先端ビジネスモデルの開発に努めてきた自動車リサイクル分野だけでなく、日本以外のリサイクル先進地域である欧州の技術や仕組みへのアクセスも可能となりました。

当社は、今後も特に新興市場へのリサイクルインフラ提供を通じて、持続可能な社会づくりに貢献してまいります。



ショルツ社Oliver Scholz CEO(左)
当社環境・リサイクル事業推進部 北詰部長(右)